

# 日本共産党県議団ほっとNEWS

11年6月定例会特集 NO.9

2011年7月8日 日本共産党埼玉県議団 048-824-3413

## 共産党・社民党で共同行動

### 「議会ありかた研究会」について

### 申し入れ



自民党・小島幹事長（右）に申し入れる佐藤（左）、やぎした（中央）両議員

埼玉県議会の自民、民主、公明、刷新の会の4会派による「議会ありかた研究会」が7月6日に発足したとの報道がされました。日本共産党県議団（やぎした礼子団長、村岡まさつぐ議員）と社民党（佐藤征治郎議員）は共同で7日、「研究会」の構成員を県議会全会派とする 会議の公開や議事録の作成など「研究会」を開かれたものにする、ことを4会派に申し入れました。

報道などによると、「研究会」は中長期的な行政計画に対して議会が主体的に参画していくことや、議会運営についてのさまざまな課題の検討をするもの

です。この中には、県の新五カ年計画策定や県政調査費についての見直し、「議会基本条例」の制定、一般質問のやり方など、すべての会派に共通する問題が含まれていると考えられます。

申し入れ書では、これらの問題は県民が高い関心を示している課題であり、議会改革を真に県民全体の望むものにするためには、一部の会派によって密室で協議し、その結果を県議会に押しつけるようなやり方ではなく、公平公正に、透明性を確保して進めるべきだと主張しています。

7日にはやぎした、佐藤両議員が4会派を順次訪問し、申し入れ書を手渡しました。自民の小島幹事長は申し入れ書を預かり、団長などに伝えると回答。民主の浅野目幹事長と刷新の会の中屋敷議員は、それぞれ8日の団会議に申し入れ書についてははかると応じました。公明党は議員が不在だったため、受付に申し入れ書を預けました。



民主党・浅野目幹事長（後ろ向き）に申し入れる、やぎした（右）、佐藤（左）両議員